



2026年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
 コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鮫島 光
 問合せ先責任者 (役職名) 経営役員CFO、CIO (氏名) 萩本 仁 (TEL) 03-6742-8550
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,131,877	9.2	176,320	11.8	178,252	15.3	135,914	16.2	135,914	16.2	256,934	140.6
2025年3月期	1,036,171	12.4	157,668	12.5	154,574	9.8	116,978	10.0	116,978	10.0	106,802	△58.7

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	92.14	92.12	9.2	8.6	15.6
2025年3月期	79.01	78.99	8.7	8.4	15.2

(参考) 持分法による投資損益 2026年3月期 △1,029百万円 2025年3月期 △470百万円
 調整後営業利益 2026年3月期 219,369百万円 2025年3月期 203,445百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,312,234	1,584,509	1,584,509	68.5	1,074.18
2025年3月期	1,828,393	1,368,535	1,368,535	74.8	927.85

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	230,852	△344,102	155,503	280,494
2025年3月期	210,802	△82,481	△108,766	221,872

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	38,468	32.9	2.9
2026年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	44,252	32.6	3.0
2027年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00		32.1	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,239,000	9.5	261,500	19.2	224,500	27.3	165,300	21.6	112.06

・通期業績予想前提レート：1ドル=155円、1ユーロ=180円

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) Organ0x Limited、除外 1社 (社名) Kalila Medical, Inc.

(注) 特定子会社であったKalila Medical, Inc. は、2026年1月31日付で当社の子会社であるTerumo Medical Corp. を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期	1,480,559,680株	2025年3月期	1,480,559,680株
2026年3月期	5,476,639株	2025年3月期	5,608,213株
2026年3月期	1,475,035,745株	2025年3月期	1,480,540,916株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結財政状態計算書	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(連結損益計算書)	9
(連結包括利益計算書)	10
(3) 連結持分変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(非金融資産の減損)	16
(企業結合等関係)	18
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループでは、2021年12月に次の5カ年を対象とする成長戦略を策定しました。高齢化社会における慢性疾患との共生や患者さんのQOL向上、ゲノム医療とAIの進化による個別化医療の進展といった、医療のパラダイムシフトに対応するための中長期ビジョンとして「デバイスからソリューションへ」を掲げました。製品軸から顧客軸へフォーカスを移し、医療のエコシステム全体とより積極的にかかわることで、顧客の課題に複合的なソリューションを提案できる企業を目指して経営を推進しています。5カ年成長戦略の4年目となる当期の連結業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上収益	1,036,171	1,131,877	9.2	8.6
売上総利益	560,670	594,675	6.1	5.5
調整後営業利益	203,445	219,369	7.8	8.0
営業利益	157,668	176,320	11.8	11.5
税引前利益	154,574	178,252	15.3	—
当期利益	116,978	135,914	16.2	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	116,978	135,914	16.2	—

当期の地域別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

地域	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
米州	395,653	443,405	12.1	13.6
欧州	218,287	242,655	11.2	4.7
中国	84,968	91,309	7.5	6.7
アジア他	120,054	131,902	9.9	11.6
海外計	818,964	909,274	11.0	10.2
日本	217,206	222,603	2.5	2.5
合計	1,036,171	1,131,877	9.2	8.6

<売上収益>

売上収益は、前期比9.2%増の1兆1,319億円となりました。グローバルで医療需要の拡大が継続し、米州を中心に主要ビジネスが成長し、当社グループの販売は好調に推移しました。

海外は、アクセス製品を中心としたインターベンショナルシステムズ事業や、血漿イノベーションビジネスの展開加速を受けてグローバルブラッドソリューションが拡大し、前期比11.0%の増収となりました。

日本は、ファーマシューティカルソリューション事業の売上が好調に推移し、前期比2.5%の増収となりました。

<利益>

売上総利益は、米国における関税政策の影響を受けつつも売上収益の増加により、前期比6.1%増の5,947億円となりました。

調整後営業利益は、売上総利益の増加等により、前期比7.8%増の2,194億円となりました。

営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、売上総利益の増加等により、いずれも増益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	624,357	676,421	8.3	7.4
	(海外)	570,372	619,262	8.6	7.6
	(日本)	53,985	57,159	5.9	5.9
メディカルケアソリューションズ カンパニー	売上収益	211,235	216,138	2.3	1.9
	(海外)	61,123	65,496	7.2	5.8
	(日本)	150,111	150,642	0.4	0.4
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	200,280	231,037	15.4	15.2
	(海外)	187,469	216,529	15.5	15.4
	(日本)	12,811	14,507	13.2	13.2
オーガンテクノロジーズ事業	売上収益	—	7,985	—	—
	(海外)	—	7,985	—	—
	(日本)	—	—	—	—

<心臓血管カンパニー>

海外は、インターベンショナルシステムズ事業を中心に全事業で伸長し、前期比8.6%の増収となりました。日本は、インターベンショナルシステムズ事業及びニューロ事業の売上が好調に推移し、前期比5.9%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比8.3%増の6,764億円となりました。

<メディカルケアソリューションズカンパニー>

日本は、ホスピタルケアソリューション事業において、一部事業の終了等の影響を受けたものの、ファーマシューティカルソリューション事業が伸長し、前期比0.4%の増収となりました。海外は、北米及び欧州で売上が増加し、前期比7.2%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比2.3%増の2,161億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

海外は、北米における血漿イノベーションビジネスの展開加速に伴いグローバルブラッドソリューションが好調に推移し、前期比15.5%の増収となりました。日本は、採血関連製品の売上が増加し、前期比13.2%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比15.4%増の2,310億円となりました。

<オーガンテクノロジーズ事業>

当社は、2025年10月29日付でOrganOx社の全株式を取得し、同社を完全子会社化したことに伴い、取得日以降の同社の業績を連結業績として開示しております。また、OrganOx社が手掛ける事業の名称を「オーガンテクノロジーズ事業」に決定しました。なお、本決定は事業内容の変更を伴うものではありません。

当該セグメントの売上高は、北米市場を中心とした事業拡大により、80億円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

資産合計は、4,838億円増加して2兆3,122億円となりました。これは主に、OrganOx社の取得等により有形無形資産が2,582億円増加、生産設備への投資やドイツレバークーゼン工場の取得等により有形固定資産が754億円増加、事業規模の拡大等により現金及び現金同等物が586億円増加、為替相場が円安方向に推移した影響等により棚卸資産が412億円増加したことによるものです。

負債合計は、2,679億円増加して7,277億円となりました。これは主に、OrganOx社の買収を目的とした借入れ等により社債及び借入金が増加した2,050億円増加したことによるものです。

資本合計は、2,160億円増加して1兆5,845億円となりました。これは主に、当期利益の計上により1,359億円増加、為替相場が円安方向に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により1,210億円増加した一方で、剰余金の配当により413億円減少したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,802	230,852	20,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,481	△344,102	△261,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,766	155,503	264,269
現金及び現金同等物の期末残高	221,872	280,494	58,621

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,309億円となりました。税引前利益1,783億円、減価償却費及び償却費954億円、法人所得税の支払額416億円が主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3,441億円となりました。OrganOx社やドイツレバークーゼン工場の取得等に伴う関係会社又はその他の事業の取得による支出2,483億円、生産設備等への投資に伴う有形固定資産の取得による支出852億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出168億円が主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1,555億円となりました。OrganOx社の買収を目的とした借入れによる収入2,398億円、配当金の支払額413億円、長期借入金の返済による支出350億円が主な要因です。

また、上記に加えて、現金及び現金同等物に係る換算差額により164億円増加した結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末より586億円増加して2,805億円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	72.5	74.8	68.5
時価ベースの親会社所有者帰属持分比率(%)	221.2	225.6	134.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.8	1.0	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	113.0	123.4	83.7

（注）親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結財政状態計算書に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

2027年3月期においても、医療需要の増加傾向が継続し、欧米を中心に売上収益の拡大が見込まれます。マクロ環境は、サプライチェーンの混乱や、原材料価格の高騰リスクは継続するものと考えます。また、中東情勢をはじめとする地政学リスクも高まり、先行きは不透明な状況になっています。このような環境下において、業績予想については、売上収益、調整後営業利益において増収増益を見込んでいます。米国における関税政策と中東情勢の影響についても一定の想定に基づき影響額を推定し、業績見通しに織り込んでいます。製造現場における生産性の向上、コスト削減策等、市場環境に応じた適切な対策を今後も推進していきます。高成長が見込まれる分野では、引き続き生産能力の拡大を中心とする設備投資を進める予定です。また、5カ年成長戦略「GS26」の最終年度である今期においても、医療従事者の不足や院内業務効率化の推進等、医療現場の課題に向き合い、新たな価値・ソリューションを提供する事業の拡大・創出に取り組むことで、成長戦略で掲げた目標の達成を目指します。

2027年3月期の業績見通しは以下のとおりです。

<連結業績予想について>

(単位：百万円)

	2026年3月期 業績	2027年3月期 業績予想	増減額	増減率 (%)
売上収益	1,131,877	1,239,000	107,122	9.5
調整後営業利益	219,369	261,500	42,130	19.2
調整後営業利益率	19.4%	21.1%	-	-
営業利益	176,320	224,500	48,179	27.3
営業利益率	15.6%	18.1%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	135,914	165,300	29,385	21.6

2026年3月期実績レート；1ドル=151円、1ユーロ=175円

2027年3月期想定レート；1ドル=155円、1ユーロ=180円

（5）利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の増大を図っていきます。これは、株主の皆様への利益に適うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。

株主の皆様への利益分配につきましては、安定した増配に加えて、成長投資や財務健全性等を総合的に勘案しながら、総還元性向50%を水準に自己株式取得も検討してまいります。

当期の年間配当金につきましては、1株につき30円とする予定です。従って、期末配当金は、既にお支払いした中間配当金1株につき15円を差し引き、1株につき15円とする予定です。

次期の年間配当金につきましては、1株につき36円(うち中間配当金18円)を予定しております。

《おことわり》

当社の開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上及びグローバルでのルール統一による経営管理の精度向上とガバナンス強化を目的として、2018年3月期期末決算より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	(単位：百万円) 当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	221,872	280,494
営業債権及びその他の債権	176,854	214,927
その他の金融資産	388	236
棚卸資産	294,385	335,634
未収法人所得税等	3,218	2,644
その他の流動資産	26,776	27,102
流動資産合計	723,496	861,040
非流動資産		
有形固定資産	431,078	506,481
のれん及び無形資産	545,243	803,410
持分法で会計処理されている投資	1,927	1,544
その他の金融資産	40,925	65,085
繰延税金資産	31,077	45,107
その他の非流動資産	54,645	29,565
非流動資産合計	1,104,897	1,451,194
資産合計	1,828,393	2,312,234

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	91,029	89,756
社債及び借入金	15,000	279,886
その他の金融負債	7,834	8,969
未払法人所得税等	23,836	36,830
引当金	242	260
その他の流動負債	103,022	125,028
流動負債合計	240,965	540,731
非流動負債		
社債及び借入金	159,838	99,910
その他の金融負債	32,401	39,257
繰延税金負債	5,835	25,671
退職給付に係る負債	6,388	6,214
引当金	617	921
その他の非流動負債	13,809	15,018
非流動負債合計	218,891	186,993
負債合計	459,857	727,725
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,725	51,720
自己株式	△14,866	△14,517
利益剰余金	1,016,160	1,116,479
その他の資本の構成要素	276,800	392,110
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,368,535	1,584,509
資本合計	1,368,535	1,584,509
負債及び資本合計	1,828,393	2,312,234

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	1,036,171	1,131,877
売上原価	475,501	537,201
売上総利益	560,670	594,675
販売費及び一般管理費	381,648	409,937
その他の収益	6,592	9,184
その他の費用	27,944	17,601
営業利益	157,668	176,320
金融収益	3,624	6,248
金融費用	6,247	3,286
持分法による投資損益 (△は損失)	△470	△1,029
税引前利益	154,574	178,252
法人所得税費用	37,595	42,337
当期利益	116,978	135,914
当期利益の帰属		
親会社の所有者	116,978	135,914
当期利益	116,978	135,914
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (円)	79.01	92.14
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	78.99	92.12

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	116,978	135,914
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	589	8,282
確定給付制度の再測定	4,861	△1,223
純損益に振り替えられることのない 項目合計	5,451	7,059
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△15,675	113,960
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△9	—
ヘッジコスト	56	—
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△15,628	113,960
その他の包括利益	△10,176	121,019
当期包括利益	106,802	256,934
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	106,802	256,934
当期包括利益	106,802	256,934

(注) 上記の計算書の項目は税引後で開示しております。

（3）連結持分変動計算書

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2024年4月1日時点の残高	38,716	51,752	△12,436	954,679	294,379	1,327,090	1,327,090
当期利益	—	—	—	116,978	—	116,978	116,978
その他の包括利益	—	—	—	—	△10,176	△10,176	△10,176
当期包括利益合計	—	—	—	116,978	△10,176	106,802	106,802
自己株式の取得	—	△32	△30,003	—	—	△30,036	△30,036
自己株式の処分	—	△256	532	—	△276	0	0
自己株式の消却	—	△26,872	26,872	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△35,626	—	△35,626	△35,626
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	27,069	—	△27,069	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	7,199	△7,199	—	—
株式報酬取引	—	65	168	—	72	306	306
所有者との取引額合計	—	△27	△2,429	△55,497	△7,402	△65,356	△65,356
2025年3月31日時点の残高	38,716	51,725	△14,866	1,016,160	276,800	1,368,535	1,368,535
当期利益	—	—	—	135,914	—	135,914	135,914
その他の包括利益	—	—	—	—	121,019	121,019	121,019
当期包括利益合計	—	—	—	135,914	121,019	256,934	256,934
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	△1	△1
自己株式の処分	—	△63	82	—	△18	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△41,300	—	△41,300	△41,300
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	85	—	△85	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	5,790	△5,790	—	—
株式報酬取引	—	△26	268	—	99	341	341
所有者との取引額合計	—	△4	348	△35,595	△5,709	△40,960	△40,960
2026年3月31日時点の残高	38,716	51,720	△14,517	1,116,479	392,110	1,584,509	1,584,509

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	154,574	178,252
減価償却費及び償却費	85,449	95,379
減損損失	22,461	11,363
持分法による投資損益 (△は益)	470	1,029
退職給付に係る資産及び負債の増減額	104	9,750
受取利息及び受取配当金	△3,492	△3,847
支払利息	2,017	2,819
為替差損益 (△は益)	892	298
固定資産除売却損益 (△は益)	△681	597
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,613	△23,422
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,593	△7,016
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,839	△6,740
その他	12,813	12,808
小計	260,242	271,274
利息及び配当金の受取額	3,561	3,935
利息の支払額	△1,708	△2,759
法人所得税の支払額	△51,292	△41,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,802	230,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△213	△131
定期預金の払戻による収入	1,392	1,149
有形固定資産の取得による支出	△68,617	△85,213
有形固定資産の売却による収入	2,594	368
無形資産の取得による支出	△13,748	△16,750
政府補助金による収入	976	271
有価証券の取得による支出	△8,769	△8,902
有価証券の売却等による収入	4,291	13,382
関係会社又はその他の事業の取得による支出	△479	△248,275
関係会社の清算による収入	92	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,481	△344,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	29,969	239,808
長期借入金の返済による支出	△160,278	△35,000
社債の発行による収入	69,826	—
リース負債の返済による支出	△8,029	△8,011
自己株式の取得による支出	△30,051	△1
配当金の支払額	△35,622	△41,291
デリバティブの決済による収入	25,420	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,766	155,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,565	16,367
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,989	58,621
現金及び現金同等物の期首残高	204,883	221,872
現金及び現金同等物の期末残高	221,872	280,494

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2025年10月29日付でOrgan0x社の全株式を取得し、完全子会社化したことにより、当期より、新たに「オーガンテクノロジー事業」を報告セグメントとして追加しております。なお、当該追加が前連結会計年度及び既存の報告セグメントにおけるセグメント情報に与える影響はありません。

したがって、当社は、社内カンパニー制、または製品群別のセグメントを基礎として構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」、「血液・細胞テクノロジーカンパニー」及び「オーガンテクノロジー事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品

報告セグメント	サブセグメント	主要製品
心臓血管カンパニー	インターベンショナルシステムズ	血管造影用ガイドワイヤー、血管造影用カテーテル、イントロデューサーシース、大腿動脈穿刺部止血デバイス、PTCA用バルーンカテーテル、冠動脈ステント、末梢動脈疾患治療用ステント、超音波画像診断装置、血管内超音波カテーテル 他
	ニューロ	脳動脈瘤治療用コイル・ステント・袋状塞栓デバイス、虚血性脳梗塞治療用吸引カテーテル・除去デバイス 他
	カーディオバスキュラー	人工肺、人工心肺装置 他
	アオルティック	人工血管、ステントグラフト 他
メディカルケアソリューションズカンパニー	ホスピタルケアソリューション	シリンジ（注射筒）、輸液ポンプ、シリンジポンプ、輸液セット、輸液剤、腹膜透析液、鎮痛剤、癒着防止材 他
	ライフケアソリューション	血糖測定システム、ペン型注入器用注射針、インスリンポンプ、電子血圧計、電子体温計 他
	ファーマシューティカルソリューション	プレフィルドシリンジ製剤製造受託、製薬企業向け製品（薬剤充填用シリンジ、医薬品同梱用注射針） 他
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	血液バッグ、成分採血システム、血液自動製剤システム、病原体低減化システム、遠心型血液成分分離装置、細胞増殖システム、原料血漿採取システム 他
オーガンテクノロジー事業	-	臓器保存デバイス

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	624,357	211,235	200,280	1,035,873	298	1,036,171
セグメント利益 (調整後営業利益)	154,682	22,993	26,482	204,158	△712	203,445
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△10,145	—	△11,233	△21,378	△151	△21,530
一時的な損益(注) 2						△24,247
営業利益						157,668
金融収益						3,624
金融費用						△6,247
持分法による投資損益						△470
税引前利益						154,574
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	42,412	19,600	23,950	85,962	△513	85,449
有形固定資産及び 無形資産の増加額	43,583	18,465	17,801	79,849	2,634	82,484

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額298百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△712百万円には、棚卸資産の調整額2,305百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△2,437百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△24,247百万円には、注記事項「(非金融資産の減損)」の(1)から(5)を含む減損損失△17,858百万円、注記事項「(非金融資産の減損)」の(5)に関する費用△3,155百万円、カーディオバスキュラー事業における事業ポートフォリオ見直しに伴う費用△1,615百万円を含む事業再編費用△7,521百万円等が含まれております。
3. 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリュ ーションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジ ー カンパニー	オーガン テクノロジ ーズ事業			
売上収益							
外部顧客への売上収益	676,421	216,138	231,037	7,985	1,131,582	294	1,131,877
セグメント利益 (調整後営業利益)	163,994	21,568	33,635	1,665	220,864	△1,494	219,369
(調整項目)							
買収無形資産の償却費	△10,723	△7	△11,090	△2,507	△24,328	108	△24,220
一時的な損益(注) 2							△18,828
営業利益							176,320
金融収益							6,248
金融費用							△3,286
持分法による投資損益							△1,029
税引前利益							178,252
その他の項目							
減価償却費及び償却費 (注) 3	45,578	22,588	25,331	2,766	96,265	△885	95,379
有形固定資産及び 無形資産の増加額	36,719	36,685	21,700	1,078	96,184	924	97,108

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額294百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- セグメント利益の調整額△1,494百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,629百万円、棚卸資産の調整額1,846百万円、全社費用△1,993百万円等が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した販売費及び一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額です。
- 一時的な損益△18,828百万円には、現在係争中の訴訟関連費用△5,507百万円、注記事項「(非金融資産の減損)」の(1)に記載の減損損失、これに伴う関連費用がそれぞれ△4,520百万円、△3,631百万円、買収関連費用△3,906百万円等が含まれております。
- 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。
- 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、企業結合による資産の増加は含めておりません。

（1株当たり情報）

当社の普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益(百万円)	116,978	135,914
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	116,978	135,914
期中平均普通株式数(株)	1,480,540,916	1,475,035,745
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	394,721	355,086
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	1,480,935,637	1,475,390,831
基本的1株当たり当期利益(円)	79.01	92.14
希薄化後1株当たり当期利益(円)	78.99	92.12

（注） 基本的1株当たり当期利益は、親会社の普通株主に帰属する当期利益を、連結会計年度中の発行済普通株式の加重平均株式数により除して算出しております。

（非金融資産の減損）

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

前連結会計年度に認識した減損損失22,461百万円は、主に以下の理由によるものです。

（1）米州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する開発の一部中止

前連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の製品の開発の中止を決定したことにより、減損損失6,211百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の内訳は開発資産5,007百万円、建設仮勘定609百万円、のれん593百万円です。当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（2）欧州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する一部事業の中止

前連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の事業の中止を決定したことにより、減損損失5,290百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の主な内訳はのれん3,124百万円、その他の無形資産1,406百万円、ソフトウェア543百万円です。当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（3）製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止

前連結会計年度において、血液・細胞テクノロジーカンパニーに属する製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止を決定したことにより、製造設備について減損損失2,486百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。主に建設仮勘定について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（4）中国でのインターベンショナルシステムズ事業に関する一部事業の収益性悪化

前連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の事業の収益性が悪化したことにより、減損損失1,882百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、過去の経験及び外部からの情報を反映し、販売予測や市場シェア等を加味した、経営者が承認した今後9年分の事業計画を基礎としたキャッシュ・フロー見積額を現在価値に割引いて算定しております。なお、キャッシュ・フローの予測期間は5年超となっておりますが、その基礎となる事業計画は、個々の製品の販売計画を現在の市場規模や競合他社の状況

等を考慮して策定した上で、それを積み上げて作成しております。そのため、キャッシュ・フローの予測に信頼性があり、過去の経験に基づいて長期間にわたって正確に予測できると判断しております。また、減損テストの判定に使用した割引率（税引後）は10.7%です。のれんについて認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（5）欧州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する一部の工場閉鎖

前連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の工場閉鎖を決定したことにより、減損損失1,545百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の主な内訳は機械装置891百万円、建設仮勘定627百万円です。当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（6）米州でのカーディオバスキュラー事業に関する開発の一部中止

前連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の製品の開発の中止を決定したことにより、減損損失1,244百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。開発資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

当連結会計年度に認識した減損損失11,363百万円は、主に以下の理由によるものです。

（1）米州子会社が保有するインターベンショナルシステムズ事業に関する独占販売権の契約見直し

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する独占販売権について、提携方法の見直しに伴い同独占販売権に関する契約を終了したことによる減損損失4,520百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。その他の無形資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（2）米州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する収益性改善プロジェクトの中止

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する製品の収益性改善を目的としたプロジェクトについて中止を決定したことにより、減損損失2,238百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。主に建設仮勘定について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「売上原価」に含まれております。

（3）米州でのアオルティック事業に関する開発の一部中止

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の製品の開発の中止を決定したことにより、減損損失2,084百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。主に開発資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれております。

（4）米州でのカーディオバスキュラー事業に関する開発の一部中止

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の製品の開発の中止を決定したことにより、減損損失1,423百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。開発資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれております。

（企業結合等関係）

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

WuXi Biologics社のレバークーゼン工場の取得

（1）企業結合の概要

① 事業譲受の相手企業の名称及び事業の内容

事業譲受の相手企業の名称：WuXi Biologics社

事業の内容：医薬品開発製造受託（CDMO）

（注）CDMO企業である同社が保有していたドイツレバークーゼンの薬剤製品工場を取得しています。

② 取得日

2025年9月30日

③ 企業結合の主な理由

当社グループは、薬剤に適した素材を用いた薬剤充填用シリンジ等の容器並びに投与デバイスを開発するとともに、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトのCDMO事業を手掛けており、同事業のグローバル化を今後の成長戦略の一つとして位置付けております。

今回の買収で取得する薬剤製品工場を、当社グループとして初となる海外のCDMO生産拠点として活用することにより、生産キャパシティの拡充並びにグローバル対応力の強化を図り、CDMO事業のグローバル展開を加速させます。

（2）取得対価、取得資産及び引受負債の公正価値、のれん（注）1

（単位：百万円）

科目	暫定的な公正価値	修正	修正後の公正価値
棚卸資産	156		156
有形固定資産	12,654	3,780	16,435
無形資産	568	△9	558
繰延税金資産	678	△612	65
資産合計	14,058	3,158	17,216
その他の金融負債	△117		△117
繰延税金負債	△139	△313	△453
負債合計	△256	△313	△570
支払対価（現金）	27,104		27,104
取得対価合計	27,104		27,104
為替換算差額		14	14
のれん（注）2	13,317	△2,844	10,473

（注）1．中間連結会計期間においては取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な金額となっておりますが、当連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得日における公正価値の当初測定額を修正しました。

2．のれんは、今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。税務上損金算入可能と見込まれるのれんの金額は発生していません。

(3) 取得関連費用

当該企業結合に係る取得関連費用に重要性はありません。

(4) 被取得事業の売上収益及び当期利益

連結損益計算書に与える影響額に重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

(5) 企業結合が期首に完了したと仮定した場合の連結に与える影響（プロフォーマ情報）

当該影響額に重要性が乏しいことから、記載を省略しております。なお、当該プロフォーマ情報は監査を受けておりません。

Organ0x社の株式の取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：Organ0x Limited

被取得企業の事業の内容：臓器保存デバイスの製造・販売

② 取得日

2025年10月29日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

取得日直前に所有していた議決権比率 0.4%

取得日に追加取得した議決権比率 99.6%

取得後の議決権比率 100%

④ 企業結合の主な理由

本買収を通じて当社グループは、未充足ニーズが大きく存在し、今後も高い成長が期待できる臓器移植関連分野に参入します。当社が医療機器開発において長年培ってきた技術力と専門性に、Organ0x社が有する常温機械灌流（NMP：Normothermic Machine Perfusion）の知見やノウハウを融合することで、革新的な臓器保存デバイスをグローバルに提供してまいります。これにより、移植用臓器の使用率向上、マージナルドナーの臓器の活用促進、移植後成績の改善、夜間や緊急の移植手術の回避による医療従事者の負担軽減など、臓器移植に関する様々な課題を解決し、待機患者への移植機会の拡大及び移植医療の発展に貢献します。

⑤ 被取得企業の支配を獲得した方法

株式の取得

(2) 対価

(単位：百万円)

内訳	金額
現金	224,576
未払金（注）2	5,036
取得日以前に保有していた資本持分の公正価値（注）3	1,019
取得対価合計	230,632

(注) 1. 当該企業結合に係る取得関連コスト3,641百万円を連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含めて表示しております。

2. 当初契約に基づく価格調整の結果、最終的な取得価額を確定しました。

3. 当社は、企業結合以前に有していたOrgan0x社に対する0.4%の資本持分を公正価値で測定した結果、570百万円の利得を認識しました。当該利得は、連結損益計算書の「その他の収益」に含まれております。

(3) 取得資産及び引受負債の公正価値、のれん（注）1

（単位：百万円）

科目	暫定的な公正価値	修正	修正後の公正価値
流動資産			
現金及び現金同等物	4,140		4,140
営業債権及びその他の債権	2,106		2,106
棚卸資産	14,251	460	14,712
その他	2,123	9	2,132
非流動資産			
有形固定資産	4,328		4,328
無形資産（注）2	100,373	△7,795	92,577
その他	4,166	1,412	5,578
流動負債			
営業債務及びその他の債務	△2,234		△2,234
その他	△4,339		△4,339
非流動負債			
その他の金融負債	△876		△876
繰延税金負債	△27,797	1,833	△25,963
純資産	96,242	△4,079	92,162
取得対価合計	225,596	5,036	230,632
為替換算差額		△239	△239
のれん（注）3	129,353	8,876	138,230

- (注) 1. 第3四半期連結会計期間においては取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な金額となっておりますが、当連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得日における公正価値の当初測定額を修正しました。
2. 無形資産は、主に技術資産及び仕掛研究開発資産です。
3. のれんは、今後の事業展開により期待される将来の超過収益力、個別認識の要件を満たさない無形資産です。税務上損金算入可能と見込まれるのれんの金額は発生していません。

(4) 子会社の取得による支出

（単位：百万円）

科目	金額
現金による取得対価	224,576
取得日に被取得企業が保有していた現金及び現金同等物	4,140
子会社の取得による現金支払額	220,435

(5) 被取得企業の売上収益及び当期利益

連結損益計算書に与える影響額に重要性が乏しいことから、記載を省略しております。外部顧客への売上収

益及びセグメント利益については、注記事項「（セグメント情報）」に記載しております。

(6) 企業結合が期首に完了したと仮定した場合の連結財務諸表に与える影響（プロフォーマ情報）

当該影響額に重要性が乏しいことから、記載を省略しております。なお、当該プロフォーマ情報は監査を受けておりません。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は、2025年12月11日開催の取締役会決議に基づき、2026年4月28日を払込期日とする米ドル建無担保普通社債を下記の条件にて発行しました。

テルモ株式会社第1回米ドル建無担保普通社債（5年債）

1. 発行総額 500百万米ドル
2. 発行価格 額面金額の100%
3. 利率 年4.48800%（金利通貨スワップ後 年2.37110%）
4. 払込期日 2026年4月28日
5. 償還期限 2031年4月28日
6. 償還方法 満期一括償還
7. 資金の用途 一般事業資金への充当および、Organ0x社の買収のために借り入れた資金の一部についての長期資金へのリファイナンス
8. その他 為替相場変動リスクをヘッジしております。